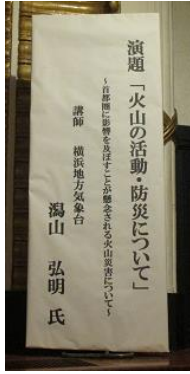


平成28年度防災セミナーを開催いたしました。



会場の様子



会長あいさつ



講演の様子



質疑応答



〔演題〕 「火山の活動・防災について」

〔講師〕 横浜地方気象台 火山防災官 湯山 弘明 氏



〔内容〕 火山の噴火により生じる現象や災害について全般的に紹介いただき、首都圏がどのような影響を受け得るか、また横浜市での防災として想定しておくべき事項（火山灰関連）について説明していただき、市民の防災意識の向上を図ることを目的として開催しました。

火山の活動・防災について

主な内容

- ・ 最近（2000年）の主な火山活動について
- ・ 噴火の様式について
- ・ 噴火に伴う現象（災害要因）について
- ・ 火山灰の影響について

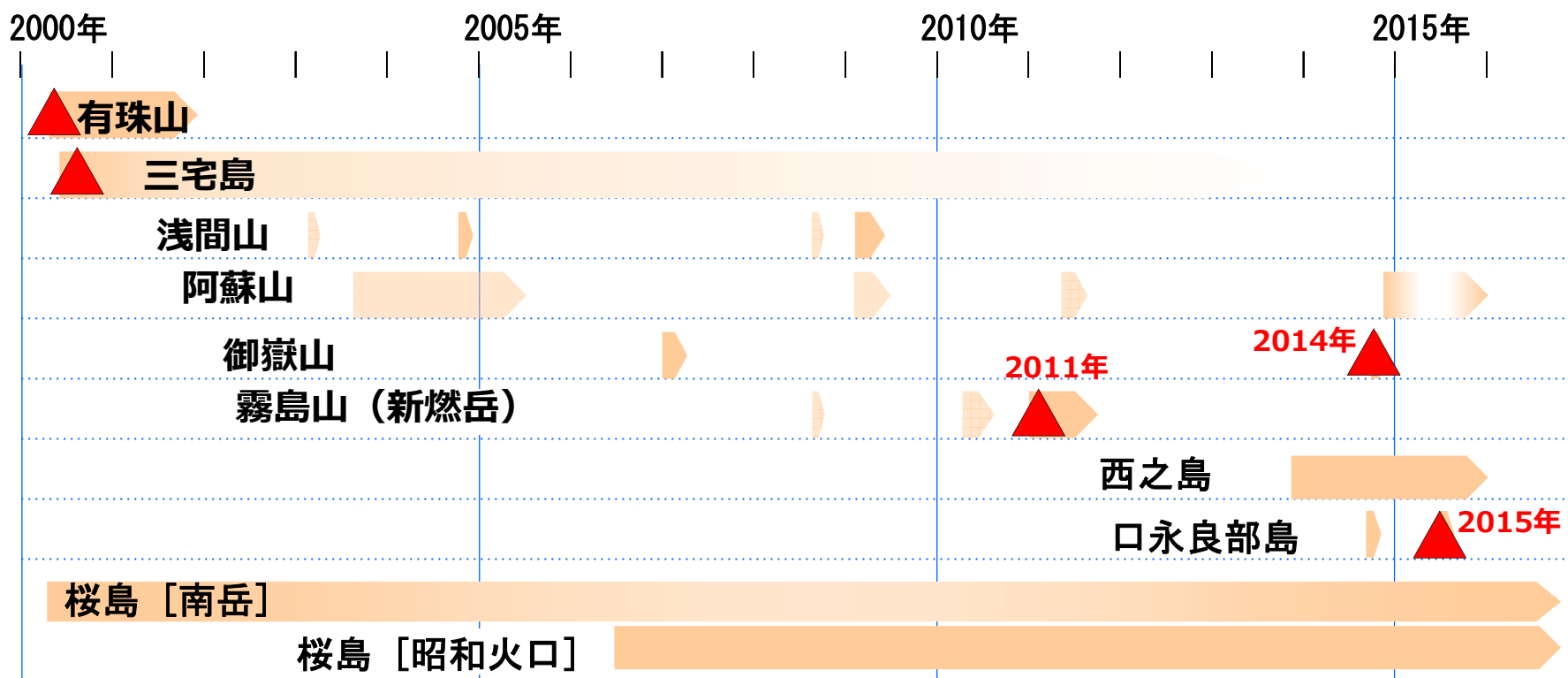
－ 趣旨 －

火山活動は多様で、様々な災害をもたらします。

多くの場合は火山周辺が中心となるため、横浜市の立地を考えると、影響を受ける現象は限られる（降灰の影響）と考えられます。

このため、講演内容としては、まずは、火山の噴火で生じる現象や災害について基本的な知識として全般的に紹介させていただき、その後、火山灰による影響について説明させていただきます。

2000年以降の主な火山活動

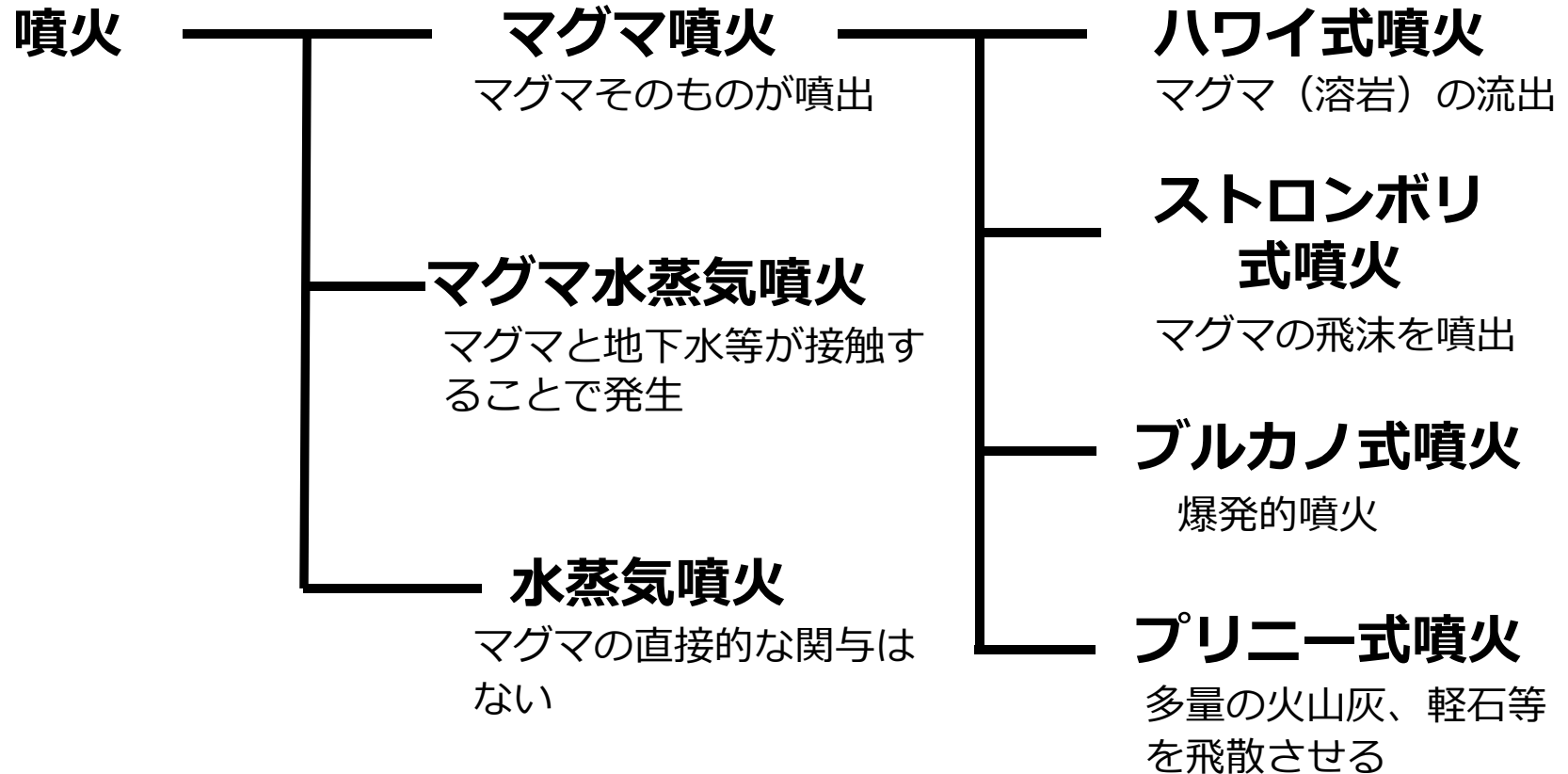


噴火の様式

噴火 火口から火山灰等の固形物や溶岩を火口付近の外へ放出する現象。

→ 多様性のある現象

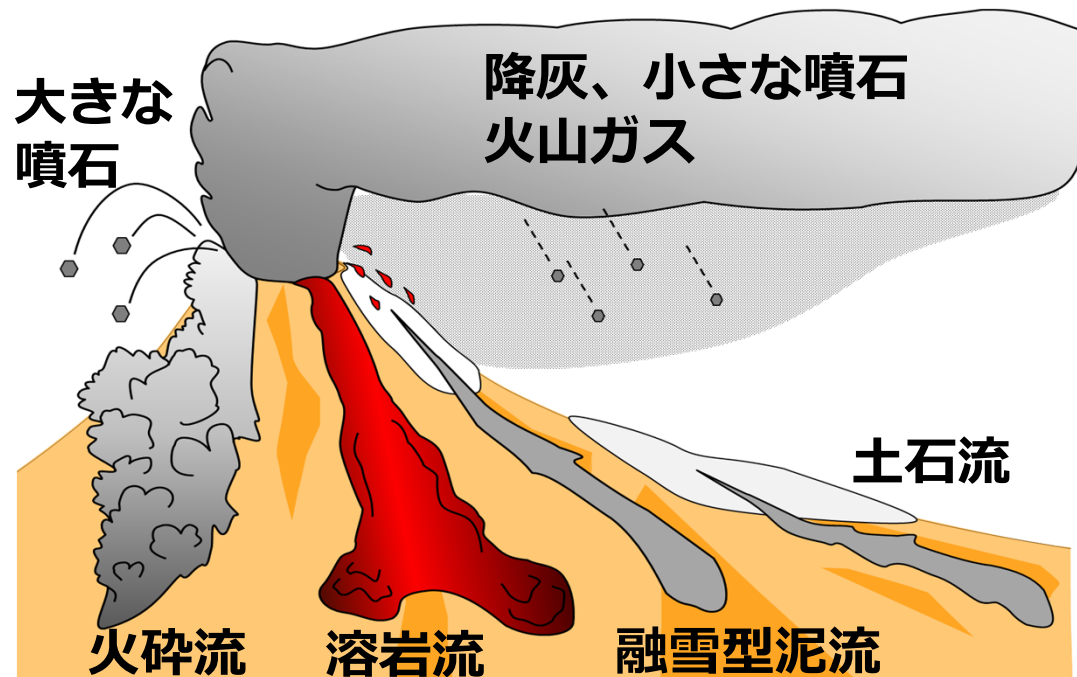
－ 噴火の様式の整理 －



ポイント：
マグマの関与の程度

ポイント：マグマを飛散させる
様式の違い

噴火に伴う現象（災害要因）



これらの他にも 割れ目噴、火山体崩壊（岩屑なだれ）、空振、地震、津波、地盤変形 など

大きな噴石・・・火口から放出される直径約50cm以上の大きな岩石。火口周辺の概ね2～4km以内に限られるものの、建造物が破壊される被害が生じる。

小さな噴石・・・火口から10km以上遠方まで風に流される場合もある。

降灰（火山灰）・・・広域に降下・堆積し、農作物の被害、交通麻痺、家屋倒壊など広く社会生活に影響を及ぼす。

火山ガス・・・ガスの成分、濃度によっては人体に悪影響を及ぼし、過去に死亡事故も発生している。

火砕流・・・高温の火山灰や岩塊が高温の火山ガスと一緒に斜面を高速度で流れ下る現象。流下速度は時速数十kmから百数十km、温度は数百℃に達する。

融雪型泥流・・・噴火により斜面の雪が融かされ、周辺の土砂や岩石を巻き込みながら高速で流下する現象。流下速度は時速60kmを超えることもあり、谷筋や沢沿いを遠方までれる。

溶岩流・・・マグマが火口から噴出して地表を流れ下る現象。通過域の建物、道路、農耕地を焼失、埋没させる。流下速度は比較的遅く基本的に人の足による避難が可能。

土石流・・・火山灰が堆積すると土石流が発生しやすくなる。高速で斜面を流れ下り、下流に大きな被害をもたらす。

降灰時の対処 – 健康面 –

呼吸器への影響

影響：（主に短期的な影響）

鼻の炎症と鼻水、のどの炎症と痛み、息苦しくなる、喘息症状の悪化
長期的な影響はまれなケース（喘息の患者）

対策：マスクの着用

目への影響

影響：目の痛み、かゆみ、充血

手でこすると角膜に傷がついたり結膜炎を引き起こす。コンタクトレンズ
を着用していると、レンズと眼の間に入り込んで傷をつけることも。

対策：目に入ったら、水で洗い流す。コンタクトレンズは使用せず、眼鏡を使う。

皮膚への影響

影響：皮膚に炎症を起こす場合もある。

対策：皮膚を露出させない。

降灰時の対処 – 生活面 –

外出を控える

- ・ 降灰量が多い場合には、屋内に留まる（多量の火山灰に接しないようにする）。
- ・ 外出する場合には、ゴーグルやマスクを着用する。

屋内に火山灰を入れないように心がける

- ・ 窓などのすきまをテープや湿ったタオルでふさぐ。
- ・ 屋内に入る際、衣類、靴についた火山灰を良く落とす。

車の運転は、可能な限り避ける。

- ← 火山灰が舞い上がって見通しが悪くなる。火山灰により路面が滑りやすくなる。ブレーキが効きにくくなる。

清掃（除去）する

- ← 火山灰は雨でも流れにくく留まりやすい。
乾いた火山灰は、弱い風（車の通過など）で簡単に巻き上げられる。

対処：清掃する前に、火山灰を湿らせる。

火山灰が厚く（1cm程度）積もっている・・・ショベルを利用。

より少ないようであれば、ほうきが便利。

集めた火山灰は、丈夫なビニール袋に入れて廃棄（自治体の指示に従う）。

注意点：排水溝や下水（屋根の作業であれば雨どい）に流さない。

屋根の作業では、はしごなども含め、足元が滑りやすいので十分注意。

参考資料

気象庁関係

・噴火警報等の発表状況

・気象庁が発表する火山に関する情報や資料の解説（噴火警報、降灰予報など）

ホーム > 知識・解説 > 火山 各種解説資料

http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol_know.html#kaisetsu

研究機関等

・防災科学技術研究所 火山情報WEB

<http://vivaweb2.bosai.go.jp/ash/>

パンフレット 「降灰への備え」、「火山灰の健康影響」など

・産業技術総合研究所 地質調査総合センター 災害と緊急調査

<https://www.gsj.jp/hazards/index.html>

・神奈川県 火山の防災対策

県ホーム > 防災情報 > 災害への備え > 火山 > 火山の防災対策

<http://www.pref.kanagawa.jp/sys/bousai/portal/1,3235,9,13.html>

・横浜市 火山災害について

トップページ > 組織 > 危機管理室 > 火山

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/kazan/>